

腹部疾患の急患受け入れ態勢を強化する柳井医療センター



腹部疾患の救急強化

1日から柳井医療センター

専門医常駐 24時間態勢

柳井市伊保庄の国立病院機構柳井医療センターは10月1日から、腹部疾患の救急患者の受け入れ態勢を大幅に強化する。夜間も専門医が常駐し24時間365日態勢で急患を受け入れ、柳井地域の救急医療に貢献する狙い。
(久保田剛)

4人の消化器外科医「機」に当たる。虫垂炎、が交代で当直や院内待「胆」のう炎、潰瘍に伴う

胃腸の穿孔、急性膵炎など、緊急性の高い急患の診察と治療、手術に対応する。すでに一般病床200床のうち10床を確保した。これまでは夜間など時間外に腹部疾患とみられる患者を受け入れた場合、内科系を含む当直医が診察。専門の検査や治療、手術が必要と判断した場合に専門医を呼び出していた。態勢強化後は、内科系の医師が当直の場合、専門医が院内に待機。専門医が当直の時でも、内科系の医師が待機することで手術な

どへの即応が可能となる。

住元了院長は「激しい腹痛や下血などの症状は、命に関わる疾患も多く一分一秒が勝負。少しでも早く専門の診察ができる態勢を整え、地域医療に貢献したい」としている。

2011年度、同センターが救急車などで受け入れた時間外救急患者は164人。このうち腹部疾患の患者は9人だった。すでに柳井市の休日夜間診療所や、産科の疾患が疑われる患者を受け入れる国立病院機構岩国医療センター(岩国市)などと連携強化を申し合わせており、腹部疾患の患者搬入数は増えるとみられる。

平成24年10月1日より、

腹部救急診療24時間365日体制を開始いたします

対象
患者

激しい腹痛、心窩部痛、側腹部痛、腰痛、
肛門会陰部痛、鼠径部痛、吐血、下血症例

※消化器外科医が病院内に24時間365日常駐しています。



〒742-1352
連絡先 柳井市伊保庄95

独立行政法人国立病院機構
柳井医療センター



電話 0820-27-0211



《スタッフ紹介》

職名	氏名	専門領域	所属学会等
院長	住元 了	一般外科 消化器外科	日本外科学会専門医・指導医 日本消化器外科学会認定医・専門医 日本透析医学会認定医・専門医 マンモグラフィー認定読影医
診療部長	池田 政宣	一般外科 消化器外科	日本外科学会指導医・専門医 日本消化器外科学会指導医・専門医 日本消化器病学会専門医 日本大腸肛門病学会専門医
医長	竹本 将彦	一般外科 消化器外科	日本外科学会会員 日本消化器外科学会会員
医師	石田 伸樹	一般外科 消化器外科	日本外科学会専門医 日本臨床外科学会 日本消化器外科学会 日本透析医学会 日本乳癌検診学会

《対象疾患》

甲状腺腫瘍、頸部腫瘍、肺癌、気胸、乳癌、食道癌、胃癌、肝臓癌、膵臓癌、胆石症、大腸癌
直腸癌、腸閉塞、肛門疾患、鼠径ヘルニア、下肢静脈瘤、内シャント増設等々